

## 女夫淵～鬼怒沼山山行報告書

コース：女夫淵駐車場～日光澤温泉～オロオソロシノ滝～日光澤温泉(泊)～女夫淵駐車場

日時：10月8日(土)～9日(日) (10月7日前夜泊)

天候：10月8日曇り／9日雨のち曇り

山行タイム：10月8日 女夫淵 9:45～日光澤温泉 11:45 12:00～ヒナタオソロシノ滝  
～日光澤温泉(泊) 13:25

10月9日 日光澤温泉 8:20～女夫淵駐車場 10:50

メンバー：CL 狩野、時田(会計)、江橋(記録)

### 【山行報告】

10月7日 20:00 前千葉駅集合後事務所でテントを借り出発。紅葉時期の日光の渋滞を警戒し前日発となった。今回はTさんの新車でGO！

東北道西那須野塩原IC～女夫淵駐車場へ。下りるICを間違えたようで山道が続く。

そのおかげで夜の動物園を訪れることができた。最初に現れたのは、かなり大きい鹿。車道ギリギリにいてこちらは驚いたが、鹿はあまり驚いた様子も無い。鹿がしょっちゅう出没する為、気をつけながら進む。すると今度は狸が登場。また、道に駆け込んだのはイタチか？テンか？

1:00 ごろ女夫淵駐車場到着。天気予報がよくない為か駐車場は割りと空いている。駐車場の隅にテントを張り就寝前の一杯。3:00 就寝。Kさんは、寝袋を持ってきておらず厚着をし、ツェルト、大きいポリ袋等をフル活用し寒さをしのぐことができたようだ。

10月8日 8:30 起床、天気予報があまりよくなかった為、ゆっくり目の起床。天気は曇り、雨はきっと大丈夫と信じ、朝食の後 9:45 出発。車を停めた女夫淵には 2013 年まで温泉があったようだが、地震により被災し廃業、建物も取り壊されたようだ。

日光澤温泉までの道は登りといった登りはあまりない歩きやすいハイキングコースだ。しかし、その脇の崖は地震の影響なのか崩れそうな場所が所々にあり、工事中の場所も何箇所かあった。残念ながら山はほとんど紅葉していない。途中山葡萄の収穫を楽しみながら進む。日光澤温泉手前の加仁湯は『千と千尋の神隠し』の風呂屋のようだ。

日光澤温泉前には大きな滝があった。登るのは難しそうだがKさんは近いうちにトライしたいそうだ。チェックイン時間は 13:00 の為、12:00 荷物を置かせてもらいヒナタオソロシノ滝展望台へ向かう。展望台から見た滝の水の流れはスローモーションのようで不思議な感じがした。ここで昼ご飯を食べ、鬼怒沼山に向かうか宿に戻るか迷ったが、既に時間は 13:00、ここから往復 4 時間掛かることを考えるとちょっと遅い時間だ。明日の天気予報は良かったはず。それを信じ、明日登頂することにして宿に戻る。チェックインの後入浴。19:00～21:00 以外は混浴だそうだ。もちろん我々も一緒に入浴。ここは 3 つの源泉があるとのこと。下の露天は白濁湯、上は透明だ。日帰り入浴の人も結構来ている。若い女性もいる。ロビーではバスタオルを貸してくれてそれを使い入浴可能だ。水着を用意してくる人もいた。

ここで、ヒヤリハット発生。風呂の排水口の木の蓋が腐食していたようで、Tさんが踏み抜き片足を踏み外し落下。落差 80cm 程か？ 無事救出、怪我はないようだ。

風呂の後、夕食までの間に、新歓幹事の Kさんと Tさんは来週の打ち合わせ。かなり大変そうだ。来年は私の番だ。

17:00 夕飯。ご飯が輝いていてとてもおいしかった。岩魚の塩焼きもおいしかったが、焼きたてはもっとおいしそうだ。食事、2 次会の後もう一度入浴。すっかり温泉を楽しんだ。

10月9日 6:00 ごろ起床。外はかなりの雨だ。鬼怒沼は無理そうだ。。。天気予報では 9 時以降回復傾向とのこと。朝食後 8:20 雨合羽を着て下山開始、10:50 駐車場到着。駐車場に着くころには雨は上がっていた。出発時は雨合羽でちょうど良かった体感も、着いた時には合羽の中には汗。暑かった。

帰りは、お土産屋に寄りながら日光経由で帰路へ。山中でこの日は3匹の親子猿を見ることができた。母親のお腹に生まれたてのかわいらしい子供がしがみついていた。

日光駅前の反対車線は大渋滞だ。日光 IC 近くで昼食の後、東北道～北関東道経由で帰葉。首都高を使用しないこともあり渋滞知らずだ。佐倉 IC で下り 15:40 帰宅。3連休の2日目早く帰宅できた。

鬼怒沼山登頂は果たせなかったが、温泉旅行を楽しんだ。

～ 以 上 ～









